

令和7年度 学校経営方針

国 … 日本国憲法 教育基本法 学習指導要領

道 … 北海道教育推進計画 「自立・共生」

渡島… 教育推進の重点 3つの「i」
・自他のよさを活(i)かし → 安心感と充実感を創り出す
・意(i)欲的に学び → 資質・能力を身に付ける
・社会を生(i)き抜く力を育む → 学びや地域の資源をつなげる

八雲… 第二期八雲町教育推進計画（後期）

- 教育行政執行方針
- 1 自他を認め持続可能な社会の創り手を育む教育活動の展開
 - 2 小中一貫型コミュニケーション・スクールの充実
 - 3 誰一人取り残すことのない教育の充実
 - 4 安全・安心な教育環境づくりの推進
 - 5 町民自らが主体的に学び行動する生涯学習社会の実現
 - 6 心身の健康を目指した社会体育・スポーツの確立

1 学校教育目標

小中一貫校：八雲中学校区が目指す子ども像 一めざす15歳の姿「郷土を愛し、未来を築く人間」

○健康な生徒（体） ○創造する生徒（知） ○実行する生徒（意） ○感動する生徒（徳・情）

本校の教育目標



○ きたえる子

○ 学ぶ子

○ 思いやる子

（平成12年4月1日制定）

2 重点教育目標

「自ら学び、一緒に学び、最後までやりぬく子」

自分から！ ・ いっしょに！ ・ 最後まで！

- ・主体的で、対話的で深い学びを通して、すべての教科等で「知識・技能」や「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の育成を図る。
- ・学習用端末の活用を促進し子どもたちの学習状況に応じた「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に実現する。
- ・仲間がたくさんいる本校の強みを生かし、いろいろな子と学び合い、認め合える関係を築き、「いつでも・どこでも・だれとでも」「ひとりでも・みんなでも」学べる児童を育成する。
- ・「合う」がキーワード（4つの合う）「学び合う・高め合う・支え合う・認め合う」

3 目指す子どもの姿

- 教科書を正しく読み解くことができる子
- 学習用端末を使いこなし、学習課題を解決できる子
- 学習を自分事としてとらえ、自ら学びを進める子

4 経営の方針

児童と教職員が共に成長を続ける学校 ～元気な児童は、元気な教職員から～

「子どもも 大人も ここからチャレンジ」

- ・児童にとって最大の教育環境は教職員である。教職員と児童が一体的に成長する学校を目標とする。
- ・現在の力や環境を「現在地（ここ）」とおさえ、同心円状に資質・能力を伸長させ、将来や実生活に生きる自分の力を身に付ける。

5 取組の重点

(1) 学校や社会の連携・協働による「生きる力」を確実に育む社会に開かれた教育課程の実現

- ◇八雲小カリキュラムに沿って、着実に実践・評価・改善を進めるとともに、カリキュラム・マネジメントの意識を高めながら、学級・学年経営にあたる。
- ◇八雲小スタート・カリキュラムに沿って、小学校導入期の学校生活を円滑にするとともに、評価・改善を進める。
- ◇八雲小体育年間カリキュラムに沿って日常の体育学習を充実させるとともに八小アスレチック等、運動遊びの奨励を通して、運動に親しむ習慣化を図る。
- ◇町の歴史や文化への関心や理解を高めるため、地域の素材や人材を活用しふるさと学習を拡充する
- ◆町内幼稚園・保育園との連携を意識し、「子どもの育ちと学びをつなぐ架け橋期の教育」の充実に向けた足がかりをつくる。

(2) 「主体的で対話的で深い学び」の実現、「八雲スタイル」を踏まえた授業改善の推進

- ◇八雲町確かな学び推進会議と連携した学力向上部の校内研修に全教員が主体的に臨む
- ◇日常的な授業実践を相互に交流し、「わかる授業」「できる授業」に向かって改善する
- ◇文の構造や文章・図表の内容を正しく理解する汎用的読解力を育む
- ◇学習用端末の活用を促進し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に進める
- ◇八小「8つのスタンダード」を踏まえ、規律ある学習態度を育成する
- ◇全国学調、CRT、チャレンジテスト等を分析し、エビデンスによる実態把握を進める

(3) 自発的、自立的な態度を育み、児童の発達を支える生徒指導や特別活動の充実

- ◇教職員や仲間との信頼関係を築き、心の居場所を学級や学校内につくる
- ◇自己選択・自己決定の機会を与える学年・学級経営、委員会やクラブ活動を進める
- ◇児童理解を深めるため、日常的な観察や教育相談・保護者懇談を実施する
- ◇いじめ・不登校の未然防止に全力をあげ、早期発見・早期解決および事後観察の徹底を図る
- ◇養護教諭、スクールカウンセラーと連携し、教育相談の効果を上げる
- ◇前年度に引き続き、生徒指導の在り方を「生徒指導提要」から学び、日常の生徒指導に役立てる

(4) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の実現

- ◇個別の教育的ニーズのある児童に、現時点で最も的確に応える指導を提供できる仕組みを整備する
- ◇合理的配慮の柔軟な見直しと提供を行うための基礎的環境整備の充実を図る
- ◇全教員が特別支援教育に関する一定の知識・技能を身に付けるため、研修を実施する
- ◇児童事例研修会を定期的に開催し、通常学級に在籍する児童に必要な支援や配慮を共有する

(5) かけがえのない命を守り、自ら心身を鍛える健康安全教育の推進

- ◇災害や事故・事件から児童を守るため、関係機関と連携し、万全な体制と対策を準備するとともに、登下校の安全については、保護者の協力を呼びかける。
- ◇危機管理マニュアルの見直しと事例研修等により全教職員の危機管理意識を高める
- ◇安心してスポーツや運動遊びに親しめる体育施設の維持管理、充実した体育指導に努める
- ◇スポーツに親しむ習慣や食習慣が身に付く指導、性に関する学習を充実させる
- ◇学校施設、教材教具の安全管理、安全点検を徹底する。

(6) 子どもたちの学びを支える教育環境の充実

- ◇最大の教育環境である教職員が元気であるために「学校における働き方改革」を推進する
- ◇教育公務員であることを自覚するとともに、全教職員で服務規律の徹底を図る
- ◇学校全体で読書活動を推進するため、町立図書館や関係団体と連携した取組を企画・運営する
- ◇実物投影機等、視覚に働きかける機器を拡充し、効果的な活用を進める
- ◇整理整頓や学級内の掲示に気を配り、落ち着いて学習できる教室環境を整える
- ◆休み時間を充実させるため、グラウンドの整備や地域人材を活用した文化的イベントを行う

6 年度の主な取組

(1) 確かな学力の定着（知）

- ア. 学習の約束の徹底
 - ・学習の約束の確認
 - ・「よくわかる八雲小」の活用
 - ・スタートカリキュラムの整備

- イ. 読書活動の充実
 - ・全校読書の積み重ね
 - ・読み聞かせ、ビブリオバトル等の実践
- ウ. 基礎・基本の確実な定着
 - ・専科や少人数指導による指導の充実・家庭学習の習慣化
- エ. 学力調査等の分析と活用
 - ・分析、課題の洗い出しと指導法へのフィードバック
- オ. 主体的・対話的で深い学び
 - ・校内研修における指導法の定着
- カ. 特別支援への理解と共有
 - ・分掌及びコーディネーターによる学習機会と関係機関との連携
- キ. ICT とプログラミング教育
 - ・ICT 機器の積極的活用、活用に関する研修・端末とドッグの利活用

(2) 豊かな人間性の育成 (徳)

- ア. 安定した学級経営
 - ・学び合う、認め合う支持的風土の醸成と統一感ある指導方法
- イ. 道徳教育の充実
 - ・CS 共通重点項目を意識した指導
 - ・道徳の授業改善、授業の公開
 - ・年間指導計画の工夫、改善
- ウ. 積極的生徒指導の充実
 - ・調査等を活用したいじめ撲滅や自己肯定感、有用感の醸成
- エ. 基本的生活習慣の定着
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発、推進
 - ・あいさつ運動の充実
 - ・メディア利用時間の短縮
- オ. 文化活動の充実
 - ・全校読書による読書活動の充実
 - ・家読のすすめ
 - ・全校合唱

(3) 健やかな身体の育成 (体)

- ア. 体育的活動の充実
 - ・体育における運動量確保
 - ・新体力テスト4年生以上完全実施
 - ・運動会、遠足、水泳学習、スキー学習への取組
 - ・運動の日常化
- イ. 安心・安全な学校生活
 - ・校内危険箇所点検
 - ・安全マニュアルの見直し
 - ・通学路安全点検
 - ・避難訓練、聞き取り訓練、交通安全教室、防犯教室等の実施
 - ・養護教諭や栄養教諭のTT指導
 - ・外部人材の積極的活用
- ウ. 健康教育と食育の推進
 - ・各種ウイルス、インフルエンザ等の予防
 - ・発生時の対応の確認
- エ. 感染症の予防
 - ・給食交流会
 - ・高学年と低学年の交流清掃 (ピッカピカ DAY)
- オ. 異学年交流
 - ・AED、エピペン使用、アレルギーのための情報共有と研修
- カ. 救急法の教職員研修
 - ・外部講師を招いて実施
- キ. 性に関する特別授業
 - ・希望者による実施
- ク. フッ化物洗口
 - ・希望者による実施

7 学校教育目標・重点教育目標の検証

- ・「全国学力・学習状況調査」、「全国体力・運動能力運動習慣等調査」数値結果の分析
- ・「CRT」「知能検査」数値結果のクロス分析
- ・「北海道チャレンジテスト」「単元テスト」数値結果の分析
- ・「児童アンケート」、「保護者アンケート」、「職員アンケート」の数値分析
- ・学級担任による児童観察

《きたえる子》

自分の体力や運動能力、健康の状況を知り、自ら向上するよう継続的に努力する

- ・学校評価 児童アンケート「元気に遊んだり、進んで運動したりできるように努めていますか」
児童 85%以上 (R6年度は80.1%)
- ・全国体力運動能力テスト 体力合計点 男女ともにTスコア50点未満 (R6年度 男48.7 女48.0)
R6児童の課題 → 上体おこし 長座体前屈 反復横跳び 50m走

《学ぶ子》

全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する

- ・学校評価 児童、教職員アンケート「宿題や自主学習をきちんと取り組むことができますか」
児童 85%以上(R6年度は85.0%) 教職員 85%以上(R6年度は76.7%)
- ・全国学力学習状況調査、全道の平均正答率を上回る
- ・北海道チャレンジテスト、渡島管内の平均正答率を上回る
- ・算数の単元テスト 正答率85%以上
- ・家庭学習「学年×10分」を達成している児童85%

《思いやる子》

相手を認め、思いやりをもって行動できる

- ・学校評価 児童アンケート「学校は楽しいですか」 児童95%以上 (R6年度は90.2%)
- ・いじめアンケート「いじめは許されない」を95%以上

《その他》

- ・質問紙調査「自分にはよいところがある」 肯定回答が全国平均以上 (R6年度は-7.8%)
- 〃 「将来の夢や目標を持っている」 肯定回答が全国平均以上 (R5年度は+3.7%)